

# 松本市の景気動向

— 中小企業景気動向基本調査 —

【令和5年1月】

■調査概要（データ対象期間：令和5年1月1日～1月31日）

○調査期間：令和5年1月31日～令和5年2月21日

○調査対象：市内中小企業200企業に対して郵送等によるアンケート調査

○回収状況：建設業19企業、製造業18企業、卸売業9企業、小売業23企業

飲食業13企業、サービス業38企業（運輸、不動産仲介業を含む）

<合計120企業>

○調査項目：1月の売上・仕入・営業利益・受注量・受注単価・販売(客)数・販売(客)単価

状況向こう3ヵ月の業況見通し（DI値を集計）

(注)DI(Diffusion Index)値は、売上などの各項目についての判断の状況を示す。ゼロを基準と

して、プラスの値で景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下

向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示す

ものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

※DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

松本市・松本商工会議所

# 概況

## 業況DI、水準DIともにマイナス幅の拡大

### 1. 業況判断

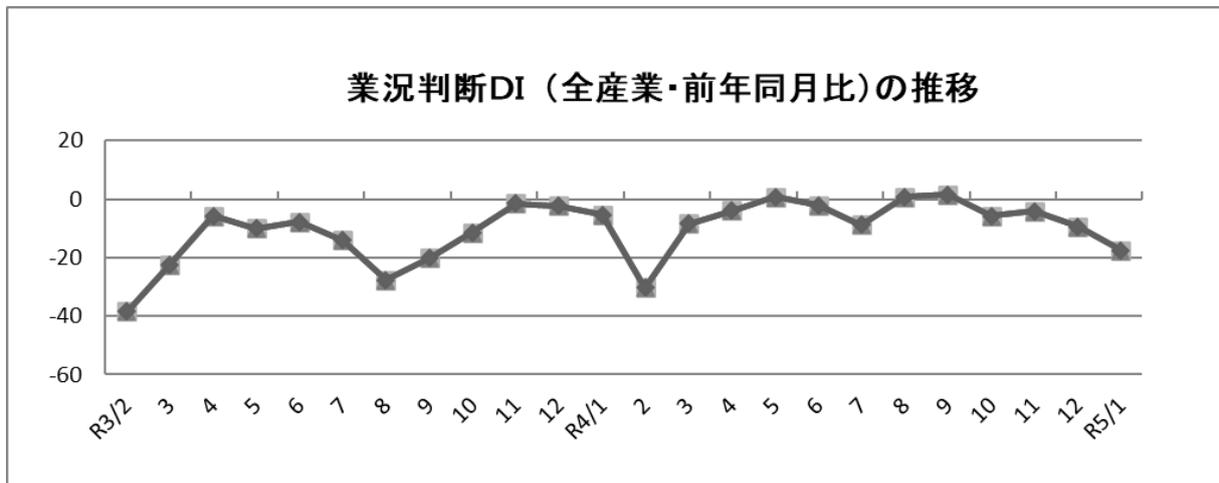
- 全産業合計の業況DI(前年同月比ベース)は、前月(▲9.5)よりマイナス幅が8.0ポイント拡大し、▲17.5となった。業種別では、卸売業が0のまま横ばいであった。飲食業はマイナスからプラスに転じた。建設業はマイナス幅が縮小し、サービス業、製造業、小売業はマイナス幅が拡大した。
- 全産業合計の水準DIは、前月(▲19.9)よりマイナス幅が14.3ポイント拡大し、▲34.2となった。業種別では、全業種でマイナス幅が拡大した。

業況判断DI

	業況[前年同月比]				今月の水準			
	好転%	不変%	悪化%	DI	良い%	普通%	悪い%	DI
合計	11.7 (13.5)	59.1 (63.5)	29.2 (23.0)	▲17.5 (▲9.5) ↓	5.8 (10.3)	54.2 (59.5)	40.0 (30.2)	▲34.2 (▲19.9) ↓
建設業	5.3 (5.0)	63.1 (55.0)	31.6 (40.0)	▲26.3 (▲35.0) ↗	0.0 (5.0)	63.2 (70.0)	36.8 (25.0)	▲36.8 (▲20.0) ↓
製造業	16.7 (16.7)	38.9 (55.5)	44.4 (27.8)	▲27.7 (▲11.1) ↓	5.6 (11.1)	38.8 (55.6)	55.6 (33.3)	▲50.0 (▲22.2) ↓
卸売業	11.1 (16.7)	77.8 (66.6)	11.1 (16.7)	0.0 (0.0) →	11.1 (8.3)	55.6 (66.7)	33.3 (25.0)	▲22.2 (▲16.7) ↓
小売業	0.0 (16.7)	56.5 (62.5)	43.5 (20.8)	▲43.5 (▲4.1) ↓	0.0 (20.8)	47.8 (37.5)	52.2 (41.7)	▲52.2 (▲20.9) ↓
飲食業	23.1 (14.3)	61.5 (64.3)	15.4 (21.4)	7.7 (▲7.1) ↗	15.4 (7.1)	46.1 (64.3)	38.5 (28.6)	▲23.1 (▲21.5) ↓
サービス業	15.8 (13.2)	63.1 (71.0)	21.1 (15.8)	▲5.3 (▲2.6) ↓	7.9 (7.9)	63.2 (65.8)	28.9 (26.3)	▲21.0 (▲18.4) ↓

( )内は前月データ

※「業況[前年同月比]」…前年同月の業況との比較による回答の集計  
 「今月の水準」…事業主の方の主観による回答の集計



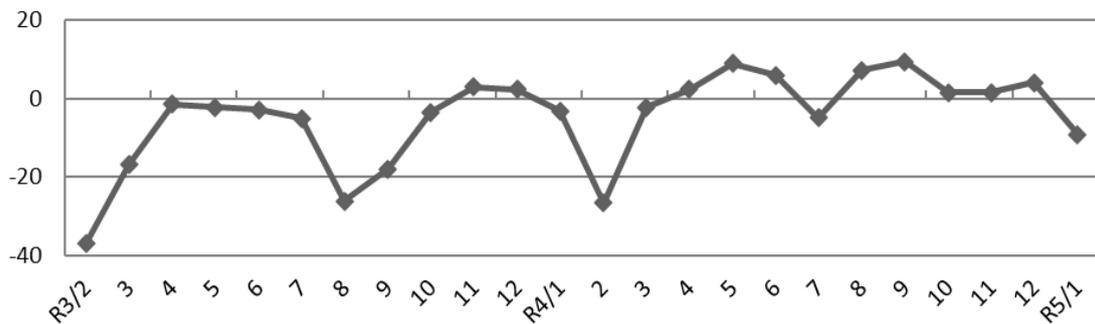
## 2. 売上高DI（前年同月比）

○全産業合計の売上高DIは、前月(4.0)よりプラス幅が13.2ポイント縮小して、▲9.2となった。業種別に見ると、飲食業、卸売業はプラス幅が拡大し、製造業、サービス業、小売業はプラスからマイナスに転じた。建設業はマイナス幅が縮小した。

【対前年同月比売上高業種別DIの推移】

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月
全体	▲3.1	▲26.5	▲2.3	2.4	9.0	6.0	▲4.9	7.2	9.4	1.6	1.6	4.0	▲9.2
建設業	▲15.8	▲23.8	▲25.0	▲15.8	▲19.1	▲21.0	▲36.8	▲10.5	▲10.5	▲20.0	5.0	▲25.0	▲15.8
製造業	10.5	▲52.7	0.0	▲16.6	▲10.0	5.5	▲12.5	5.9	15.8	0.0	▲5.0	11.1	▲5.5
卸売業	40.0	40.0	23.1	54.5	23.1	25.0	0.0	33.4	58.3	9.1	27.3	16.7	22.2
小売業	4.4	▲28.0	4.2	4.5	26.1	▲3.9	0.0	▲9.5	4.2	4.8	4.8	4.2	▲39.2
飲食業	▲50.0	▲80.0	▲35.3	0.0	7.2	11.8	5.9	33.4	20.0	30.8	▲6.6	7.2	23.1
サービス業	0.0	▲12.0	9.8	5.0	19.0	17.0	4.8	7.5	0.0	0.0	▲2.7	10.5	▲7.9

売上高DI（全産業・前年同月比）の推移



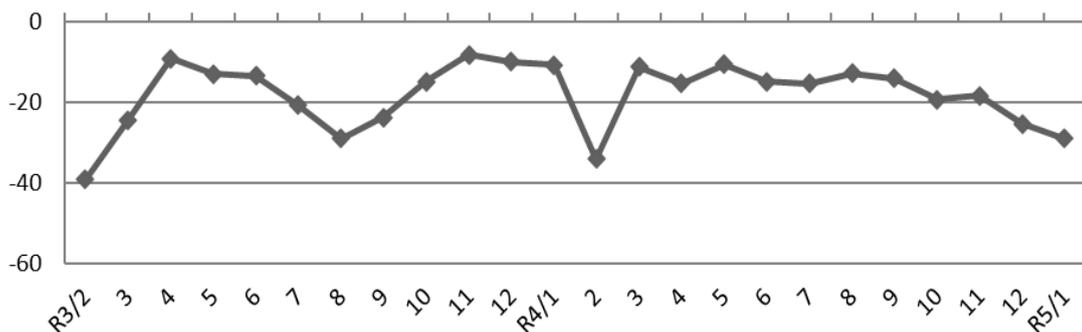
## 3. 営業利益DI（前年同月比）

○全産業合計の営業利益DIは、前月(▲25.4)よりマイナス幅が3.7ポイント拡大して、▲29.1となった。業種別に見ると、建設業、卸売業、製造業はマイナス幅が縮小し、飲食業、サービス業、小売業はマイナス幅が拡大した。

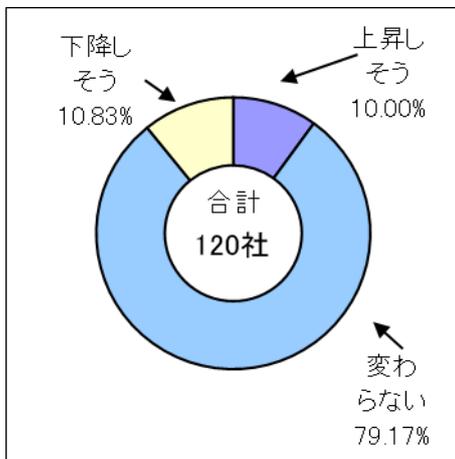
【対前年同月比営業利益業種別DIの推移】

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月
全体	▲10.8	▲34.1	▲11.3	▲15.4	▲10.6	▲15.0	▲15.4	▲12.9	▲14.1	▲19.4	▲18.5	▲25.4	▲29.1
建設業	▲21.0	▲23.8	▲30.0	▲31.6	▲38.1	▲36.8	▲31.6	▲21.0	▲26.3	▲15.0	▲10.0	▲45.0	▲21.1
製造業	▲10.6	▲57.9	▲11.1	▲44.5	▲50.0	▲27.8	▲25.0	▲23.6	▲36.8	▲36.9	▲35.0	▲61.1	▲50.0
卸売業	30.0	0.0	▲7.7	27.3	15.4	▲8.3	▲9.1	25.0	25.0	▲18.2	▲18.2	▲25.0	▲11.1
小売業	0.0	▲16.0	4.1	0.0	8.7	▲23.1	▲27.8	▲42.9	▲4.2	▲28.6	▲9.6	▲12.5	▲52.2
飲食業	▲56.2	▲80.0	▲47.0	▲21.5	▲21.5	▲11.8	▲11.8	▲13.3	▲33.3	▲30.8	▲26.7	▲28.6	▲30.8
サービス業	▲4.7	▲31.0	2.4	▲12.5	7.1	2.4	▲2.4	0.0	▲7.7	▲5.0	▲16.2	▲5.2	▲13.2

営業利益DI（全産業・前年同月比）の推移



◇ 向こう3カ月の見通し ◇

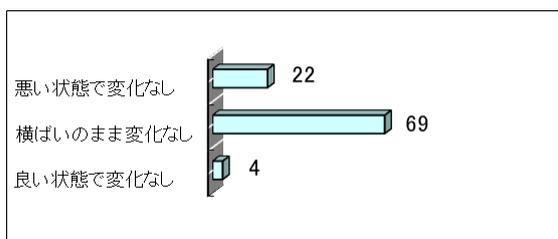


○令和5年2月～令和5年4月の見通しDIは、「上昇しそう」が前月の調査に比べ5.24ポイント上昇し10.00%、「下降しそう」が5.04ポイント下降し10.83%となった。業種別の見通しDIは建設業(▲5.2)、製造業(22.2)、卸売業(0.0)、小売業(▲8.7)、飲食業(0.0)、サービス業(▲5.3)であった。

➡「上昇しそう」では「国からの補正予算に550億円ついたため」(建設業)「年度末に向けて2月下旬からは色々と動き出すため」「新規の見積もりが増えているため」「1月より業況回復の見通しが立っているため」「3月、4月の受注増が見込めるため」「トヨタの増産による受注が増加しているため」(製造業)「季節的な要因があるため」(小売業)「ようやく経済も回り始めてインバウンドも増えるのではないかと考えているため」「新型コロナウイルス感染症次第ではあるが、良い状況であるため」「職業訓練受講者数が増加傾向のため」「閑散期が終わるため」(サービス業)といった声が寄せられた。

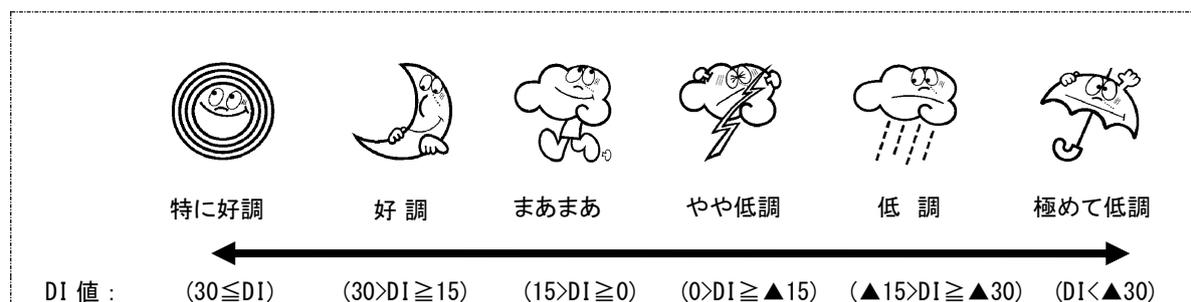
➡「変わらない」では「新型コロナウイルス感染症の対策が緩和されたため」(卸売業)「現状、大きなプロジェクトの受注予定がないため」(サービス業)といった声が寄せられた。

➡「下降しそう」では「受注環境が悪く、収益が望めないため」(建設業)「部品不足もさることながら、世界的なインフレによる投資減少が見込まれることに加えて国内で更なる値上げも有りそうのため」(製造業)「購買意欲がないため」(小売業)「シーズンオフであるため」「電気代の高騰もあり不況になりそうのため」「人員不足による施術数の低下があるため」「施設のトラブルにより顧客数を抑えざるを得ないため」「冬期は毎年同様お客様が少ないため」(サービス業)といった声が寄せられた。また、「物価高の影響を受けているため」といった声が多く寄せられた。

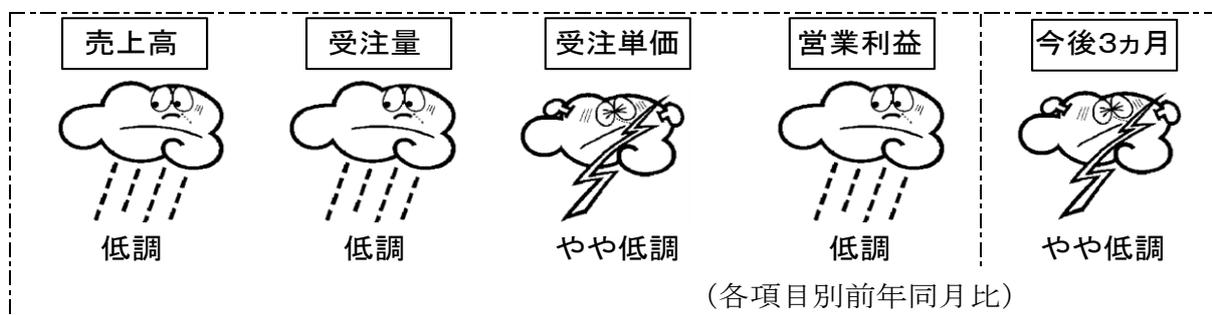


# 業種別景況

## <DI | 君の景況判断>



## 1. 建設業



【項目別DIの推移】

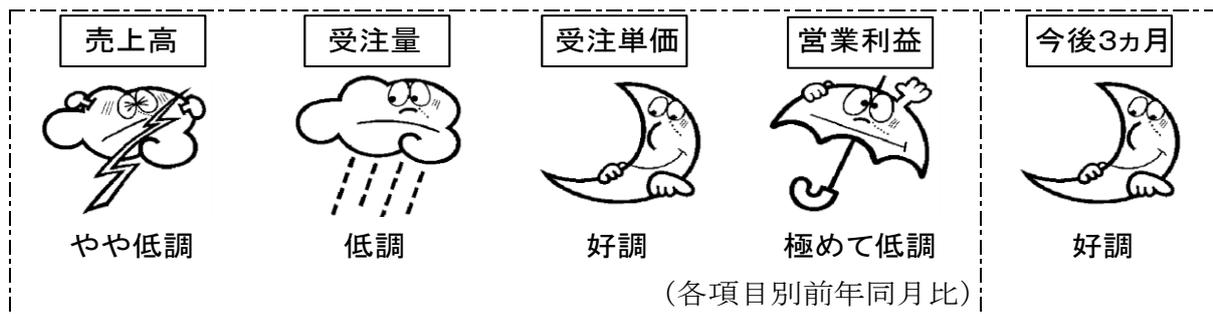
	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月
売上高	▲ 15.8	▲ 23.8	▲ 25.0	▲ 15.8	▲ 19.1	▲ 21.0	▲ 36.8	▲ 10.5	▲ 10.5	▲ 20.0	5.0	▲ 25.0	▲ 15.8
受注量	▲ 31.5	▲ 42.9	▲ 30.0	▲ 21.0	▲ 23.8	▲ 15.8	▲ 31.6	▲ 5.3	▲ 15.8	10.0	0.0	▲ 30.0	▲ 21.0
受注単価	▲ 15.8	▲ 19.0	▲ 10.0	10.5	▲ 4.7	5.3	▲ 10.5	▲ 5.3	▲ 5.2	▲ 15.0	0.0	▲ 5.0	▲ 5.3
営業利益	▲ 21.0	▲ 23.8	▲ 30.0	▲ 31.6	▲ 38.1	▲ 36.8	▲ 31.6	▲ 21.0	▲ 26.3	▲ 15.0	▲ 10.0	▲ 45.0	▲ 21.1
見通し	▲ 15.8	▲ 19.0	▲ 5.0	0.0	▲ 4.7	10.5	0.0	0.0	0.0	0.0	▲ 10.0	▲ 5.0	▲ 5.2

## <経営者の目・見方・e t c >

総合建設  
 造園工事  
 鉄工

- ・国からの公共事業の補正予算に550億円つき、全国で5番目の多さである。
- ・資材等の値上がりが非常に気になっている。
- ・県内においての建設工事が減少していると思われる。関東圏の建築工事を受注しているが、自社の生産設備、体制にそぐわないものが多く、そこから利益を生み出すのが難しいように感じる。今後も大都市圏の再開発物件の発生が予定されているようだが、自社の将来の方向性をどのようにしていくか悩んでいる。
- ・業界組合の賀詞交歓会(新年会)を3年ぶりに来賓を含めて対面にて開催した。エネルギー価格の上昇に苦慮している事業所が多く見受けられる。また、賃上げ、人手不足等年度末に向けて課題となってきている。
- ・資材単価の上昇が続いているが、発注単価の反応が追いついておらず利益が出にくい。発注量も昨年と比べると少なく感じる。

## 2. 製造業



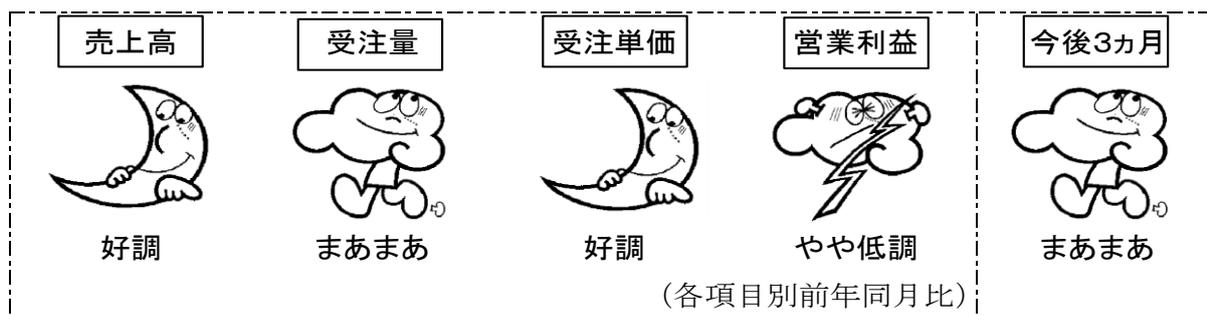
【項目別DIの推移】

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月
売上高	10.5	▲ 52.7	0.0	▲ 16.6	▲ 10.0	5.5	▲ 12.5	5.9	15.8	0.0	▲ 5.0	11.1	▲ 5.5
受注量	5.2	▲ 47.4	5.5	▲ 22.2	10.0	11.1	▲ 25.0	▲ 11.7	15.8	▲ 15.8	▲ 5.0	▲ 16.6	▲ 27.8
受注単価	▲ 10.5	▲ 21.0	▲ 5.5	11.1	5.0	16.7	6.2	11.7	15.8	21.1	20.0	11.1	16.6
営業利益	▲ 10.6	▲ 57.9	▲ 11.1	▲ 44.5	▲ 50.0	▲ 27.8	▲ 25.0	▲ 23.6	▲ 36.8	▲ 36.9	▲ 35.0	▲ 61.1	▲ 50.0
見通し	▲ 15.8	5.3	▲ 22.2	▲ 16.7	▲ 5.0	5.5	▲ 12.5	5.8	0.0	0.0	▲ 5.0	▲ 27.7	22.2

### <経営者の目・見方・etc>

- |  |  |
|--|--|
| <p>小型情報機器組立</p> <p>精密機器組立</p> <p>精密機械</p> <p>紙器</p> <p>印刷</p> <p>清酒製造業</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・人手不足と電気代、ガソリン代の対応が大変である。特に電気代に関しては料金が2.5倍になっている。</li> <li>・以前よりは部材の入荷が改善してきているがまだ安定期ではない。製造コストの上昇が向かい風となってきている。</li> <li>・例年1月は動きが少ないが、顧客情報によると全体的に景気後退感が窺われる。また一部では部品不足がますます悪化しており深刻な状況である。</li> <li>・段ボール板、紙メーカーに第二次値上げを1月1日より押し切られ得意先にはご迷惑をおかけしないように努力しているがお客様に値上げを理解していただけるようお願いしているところである。</li> <li>・印刷業や印刷関連業にとっては、業種業態変革が喫緊の課題である。重厚長大な印刷機器の償却を抱えたまま、昨今のDXや紙削減の影響により、デジタルでの納品希望が出てきているが償却の埋め合わせにまで全く至らない。</li> <li>・売上に対する新型コロナウイルス感染症の影響は少なかったが、社員に陽性者が増えてきている。</li> <li>・観光や帰省など人の動きが戻ってきているように感じる。酒の会やイベントに声がかかるようになってきた。</li> </ul> |
|--|--|

### 3. 卸売業



【項目別DIの推移】

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月
売上高	40.0	40.0	23.1	54.5	23.1	25.0	0.0	33.4	58.3	9.1	27.3	16.7	22.2
販売客数	10.0	▲ 10.0	7.7	18.2	7.7	16.7	▲ 27.3	16.7	25.0	9.1	▲ 9.1	0.0	0.0
販売客単価	40.0	20.0	30.8	36.4	38.5	41.7	9.1	41.7	50.0	36.4	18.2	8.4	22.2
営業利益	30.0	0.0	▲ 7.7	27.3	15.4	▲ 8.3	▲ 9.1	25.0	25.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 25.0	▲ 11.1
見通し	0.0	10.0	0.0	▲ 9.1	0.0	8.4	▲ 18.2	▲ 16.7	0.0	▲ 18.2	▲ 18.2	▲ 16.7	0.0

#### <経営者の目・見方・e t c>

青果

・中旬の寒波の影響で葉物果菜類が単価高となった。加えて物流の遅れが生じたり入荷が滞ってしまった商品があった。全般的に野菜果実共に昨年並みの単価であった。

土産品

・年末年始を始め好調な月であった。ただ、輸入品などの値上がりが多くあり今後に向けての不安材料として残る。

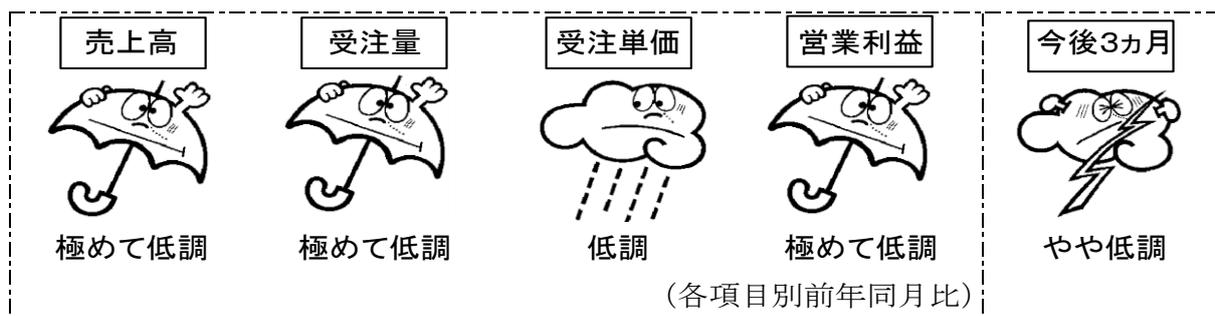
金属製品

・自動車や半導体関連は依然として低調である。建築関連も大型物件は動いているが、中小(Mクラス)が行う物件は薄い状態である。建機、産機、工作機械も横ばい推移であり、年度末に向けて回復してくることを期待したい。

自転車

・一部の商品で入荷の遅れが続いている。春の需要に向けての品ぞろえで欠品が起ころうな状態である。今後も価格の値上げ予定があり輸入商品は入荷予定が遅れている。

## 4. 小売業



【項目別DIの推移】

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月
売上高	4.4	▲ 28.0	4.2	4.5	26.1	▲ 3.9	0.0	▲ 9.5	4.2	4.8	4.8	4.2	▲ 39.2
販売客数	▲ 4.4	▲ 32.0	▲ 4.2	4.6	17.4	▲ 15.4	▲ 33.3	▲ 9.6	4.1	0.0	▲ 4.8	▲ 4.1	▲ 39.1
販売客単価	0.0	4.0	16.7	0.0	8.7	▲ 11.5	▲ 11.1	4.8	0.0	▲ 4.8	0.0	12.5	▲ 26.1
営業利益	0.0	▲ 16.0	4.1	0.0	8.7	▲ 23.1	▲ 27.8	▲ 42.9	▲ 4.2	▲ 28.6	▲ 9.6	▲ 12.5	▲ 52.2
見通し	4.3	▲ 12.0	0.0	4.6	8.7	▲ 11.5	▲ 27.7	▲ 9.5	▲ 4.2	▲ 4.7	9.5	▲ 16.6	▲ 8.7

### <経営者の目・見方・e t c>

洋菓子店

- ・1月は年末年始の後で買い控えがあり、加えて物価高もあり新型コロナウイルス感染症の影響を受けていた時よりも売上が悪い。今後良くなる見通しが無いため新たな販路を探している。
- ・バレンタインのチョコ需要が減っている。義理チョコの文化がなくなってきていると聞く。物価の高騰もあり、今後の戦略や製造体制も見直しが必要である。

和菓子

- ・1月は観光客がかなり減ってしまっている。

生鮮食品

- ・正月、あめ市、成人の日と10日ごろまで天気も良く人出も多く良かった。去年より少し売上が良い1月を過ごした。

パン

- ・観光シーズンからも外れ寒さも厳しいため、観光客は少なめである。悪天候が客足に大きく影響を及ぼしている。

薬局

- ・外国の方は戻ってきてはいるが今後どうなっていくか不透明である。

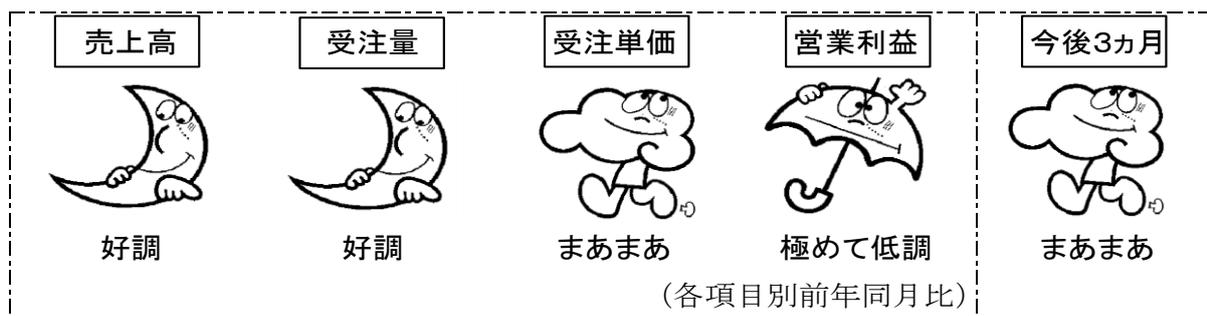
印章

- ・法人関係の注文がかなり減っている。経費の節約やペーパーレス化の流れでは致し方ないのだろうか。松本あめ市、国宝松本城氷彫フェスティバル2023などのイベントには人出がみられた。徐々に日常が戻ってきている感じがある。

印章・刃物研ぎ

- ・寒さが厳しく人通りも全くないような状況である。

## 5. 飲食業



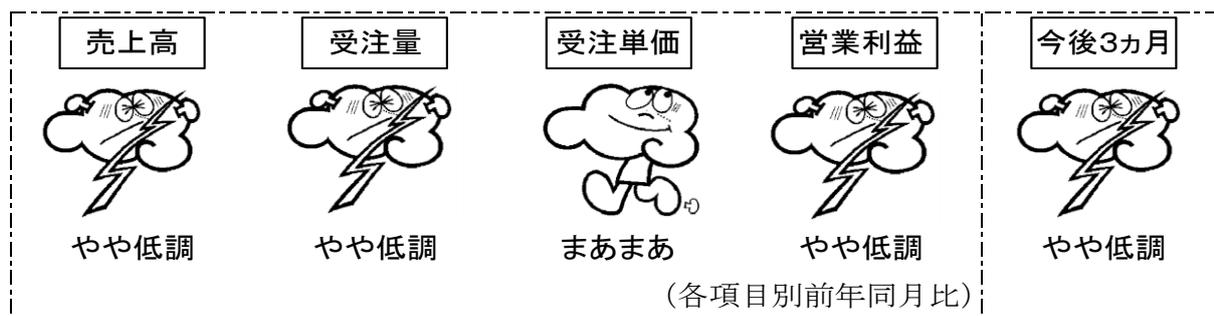
【項目別DIの推移】

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月
売上高	▲ 50.0	▲ 80.0	▲ 35.3	0.0	7.2	11.8	5.9	33.4	20.0	30.8	▲ 6.6	7.2	23.1
販売客数	▲ 62.5	▲ 86.7	▲ 35.3	7.2	0.0	11.8	11.8	20.0	13.3	23.1	0.0	▲ 7.1	23.1
販売客単価	▲ 37.5	▲ 53.3	▲ 35.3	▲ 7.2	0.0	▲ 5.9	▲ 11.7	6.7	▲ 6.7	7.7	13.3	▲ 28.6	7.7
営業利益	▲ 56.2	▲ 80.0	▲ 47.0	▲ 21.5	▲ 21.5	▲ 11.8	▲ 11.8	▲ 13.3	▲ 33.3	▲ 30.8	▲ 26.7	▲ 28.6	▲ 30.8
見通し	▲ 43.8	13.3	11.8	7.2	7.1	11.8	▲ 11.8	▲ 20.0	6.7	▲ 7.7	13.3	0.0	0.0

### <経営者の目・見方・e t c>

- |      |   |
|------|---|
| 料理   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・例年の1月と異なり客の動きが悪かったように感じる。新型コロナウイルス感染症や寒さの影響だろうか。</li> </ul>   |
| 寿司   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・ランチタイムの客入りはコロナ禍以前の状態にかなり戻ってきたように思う。夜の営業はまだまだ程遠いが少人数での宴会は少しずつ増えている。ただ原材料費と光熱費等の値上がりにより営業利益はなかなか思うようには出ない状況である。</li> </ul>  |
| 食堂   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・今年の正月は予約も増え、このまま順調にいくと期待していたが後半は100年に1度の大寒波になりお客様の出が悪くコロナ禍の時と同じで暇を持て余していた。</li> <li>・正月のイオンモール周辺は大変な混雑であった。新型コロナウイルス感染者が増大しているにもかかわらず規制がなかったので以前の賑わいが戻ったような状況であった。</li> </ul> |
| 郷土料理 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の松本地域での拡大で地元の新年会などがほとんどない状況である。全国旅行支援や信州プレミアム食事券もやっではいるがあまり勢いはないようである。</li> </ul>   |

## 6. サービス業



【項目別DIの推移】

	R4年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R5年1月
売上高	0.0	▲ 12.0	9.8	5.0	19.0	17.0	4.8	7.5	0.0	0.0	▲ 2.7	10.5	▲ 7.9
販売客数	4.7	▲ 23.8	▲ 4.8	▲ 2.5	11.9	7.4	2.4	7.5	▲ 2.6	7.5	5.4	▲ 5.2	▲ 7.9
販売客単価	▲ 2.3	▲ 14.3	0.0	0.0	0.0	7.3	▲ 2.4	2.5	5.1	7.5	10.8	5.2	13.2
営業利益	▲ 4.7	▲ 31.0	2.4	▲ 12.5	7.1	2.4	▲ 2.4	0.0	▲ 7.7	▲ 5.0	▲ 16.2	▲ 5.2	▲ 13.2
見通し	▲ 20.9	2.3	2.5	15.0	9.6	4.9	7.1	15.0	5.1	2.5	▲ 5.4	▲ 5.2	▲ 5.3

### <経営者の目・見方・etc>

旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・昨年より予約は増えているが、人手不足により予約を受けることができない状態が続いている。</li> <li>・天候によりお客様の増減がある。</li> </ul>
温泉旅館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・概ね好調な月であった。全国旅行支援やまつもと冬割キャンペーンのお陰だと思う。来月からは本格的にオフシーズンなので、しっかり体を休めて1年の疲れを取ったり、来春に向けて設備のメンテナンスや従業員の教育、補充をして望みたい。春から始まる繁忙期に備えて十分英気を養いたい。</li> </ul>
ホテル	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿泊、宴会ともに動き出しているが調理、サービス要員が慢性的に不足している。</li> </ul>
ホームクリーニング・リネンサプライ業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新型コロナウイルス感染症の5類への移行、マスクの規制緩和等々ようやくwithコロナの様相を呈してきた感じであるが、注意深く対応していきたい。</li> </ul>
リラクゼーション	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急激な電気料金の値上げに悲鳴を上げている。</li> </ul>
獣医	<ul style="list-style-type: none"> <li>・業績は前年同月に比べて良好であった。</li> </ul>
ペットサービス	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人員不足による仕事量の低下が気になる。お正月のホテルの利用は前年の1.5倍であった。</li> </ul>
機械設計	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3月4月までの仕事はあるがその先はまだ決まっていない。昨年からのテーマで来年2月、3月納期の仕事は決まっているが、まだ購入品で納期のかかるものがある。</li> </ul>
タクシー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年始と新型コロナウイルス感染症の規制緩和で帰省客が前年より増えたことに加えて、大口客もあり売上は前年より良かった。</li> </ul>
自動車整備・板金塗装	<ul style="list-style-type: none"> <li>・天候の変化が大きく寒さも続くと灯油代もかなりの負担となる。新型コロナウイルス感染症の次は値上げラッシュで経営を圧迫しそうで先行きが不安である。</li> </ul>

ソフトウェア

- ・光熱費の高騰が経費を直撃している。仕事上、会社にいる時間が長く、サーバー機(コンピュータ)を起動し続けているため、対策案はない。顧客側では、IT投資をコストセンターと捉えることが多く、新規案件が抑制されるが、ITによる生産性の向上が図れないのにもかかわらず残業カットなど苦しむ現場は多い。また、IT実装に欠かせない熟練者の引退が予想されるが、危機感のない会社が多い。

